

写真管理基準（案）

1. 総則

1-1 適用範囲

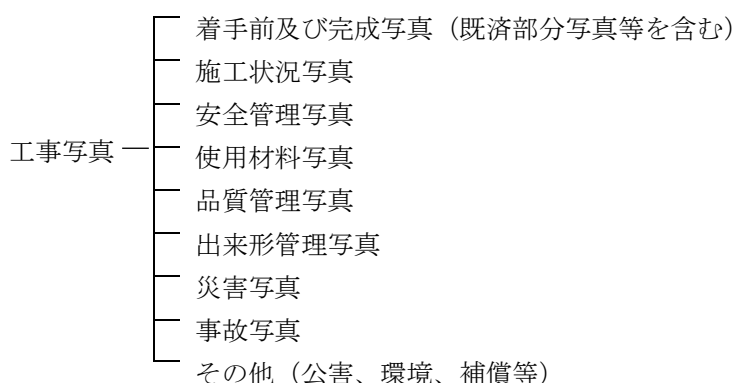
この写真管理基準は、建設工事施工管理基準7に定める建設工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影・整理および提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影・整理および提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は次のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目－施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領

（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（路面切削工編）（案）」（国土交通省）、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）（案）」（国土交通省）、「施工履歴データを用いた出来形管理要領（固結工（スラリー攪拌工）編）（案）」（国土交通省）、「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」（国土交通省）による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領（案）」（国土交通省）による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略することができる。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

ただし、「2-8 デジタル工事写真の黒板情報電子化について」に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は黒板の文字が判読できることを指標とする。
(100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000×1,500程度)
映像と読み替える場合は、以下も追加する。
- (3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 撮影の留意事項等

撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮

影するものとする。

- (3) 不可視部分の写真は、撮影項目に記載されていなくても、施工管理基準に示す趣旨を満足するよう、極力撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ、取り扱いを定めるものとする。

2-8 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図る。

デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報化対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。

対象工事では、以下の（１）から（２）のすべてを実施することとする。

(1) 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、営繕工事写真撮影要領 2. (3) 撮影方法に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

(2) デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、2-1 撮影頻度 2-2 撮影方法による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

(3) 小黑板情報の電子的記入の取扱い

工事写真の取扱いは、本管理基準によるが、小黑板情報の電子的記入については、2-5で規定されている写真編集には該当しない。

(4) 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、(2)に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお納品時に、受注者はURL (<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて発注者へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督員に提出するものとする。

写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理情報基準」に基づくものとする。

なお、電子媒体で提出しない場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」によるものとする。

4. その他

撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準(案)」を参照のこと。

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目			摘 要			
		撮 影 項 目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度				
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	着手前 1枚				
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完了後〕	施工完了後 1枚				
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の 工事進捗状況	月1回 〔月末〕	不要				
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、 施工計画書に従い施工していることが 確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜				
			創意工夫・社会性等に関する 実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	創意工夫・社会性等に関する 実施状況の提出書類に添付			
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、 形状寸法	1 施工箇所に1回 〔施工前後〕	代表箇所 1枚				
	図面との不一致	図面と現地との不一致の 写真	必要に応じて ただし、「空中写真測量（無人航空機） を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」 による場合は、撮影毎に1回 〔発生時〕 ただし、「レーザースキャナ ーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」 による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	不要 ただし、「空中写真測量（無人航空機） を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」 による場合は、写真測量に使用したすべての 画像（ICONフォルダに格納） ただし、「レーザースキャナ ーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」 による場合は、代表箇所各1枚	協議書等に添付する。			
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	不要				
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕					
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕					
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	不要		実施状況資料に添付する。		
	車両運搬状況	出発地荷姿 (走行途中) 現場到着地荷姿	車限令の制限値を越える 車両全車（往復）	全車	写真は下記のものを撮影する。 ①荷姿全景 ②ナンバープレート			
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況				各品目毎に1回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		品質証明 (JISマーク表示)				各品目毎に1回		
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕					

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目			摘 要
		撮 影 項 目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
品質管理写真		別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
出来形管理写真		別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に準じて撮影			
		不可視部分の施工	適宜	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督員と協議事項		
災 害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	被災前は付近の写真でも可
事 故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
補償関係外	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎 1 回	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第1編共通編	河川・砂防土工	1-1	掘削工	土質等の判別	掘削中	地質が変わる毎に1回	代表箇所各1枚	出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
				法長 ※右のいずれかで撮影する	掘削後	40m又は1施工箇所1回 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
		1-2	盛土工	巻出し厚	巻出し時	200mに1回	代表箇所各1枚	出来映えの撮影・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
				締固め状況	締固め時	転圧機械又は地質が変わる毎に1回(締固め時)		
				法長、幅 ※右のいずれかで撮影する	施工後	200m又は1施工箇所1回 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
		1-3	盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		1-4	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	仕上げ時	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		1-5	堤防天端工	厚さ 幅	施工後	200mに1回	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第1編 共通編	1-6	掘削工	土質等の判別	掘削中	地質が変わる毎に1回	代表箇所 各1枚	<ul style="list-style-type: none"> 出来映えの撮影 TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
			法長	掘削後	200m又は1施工箇所に1回		
			※右のいずれかで撮影する		「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
	1-7	路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	巻出し時	200mに1回	代表箇所 各1枚	<ul style="list-style-type: none"> 出来映えの撮影 TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
			締固め状況	締固め時	転圧機械又は地質が変わる毎に1回		
			法長、幅	施工後	200m又は1施工箇所に1回		
			※右のいずれかで撮影する		「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は1工事に1回 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
	1-8	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	仕上げ時	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
	1-9	組立て	平均間隔		コンクリート打設毎に1回	代表箇所 各1枚	重要構造物かつ主鉄筋について適用
			かぶり		コンクリート打設毎に1回		
1-10	組立て	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験実施中	試験毎に1回	代表箇所 各1枚	新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事および重要構造物である内空断面積25m ² 以上のボックスカルバート	
第3編 土木工事 共通編	3-1	矢板工(指定・任意仮設は除く) (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	打込前後	40m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
			変位	打込後	40m又は1施工箇所に1回		
			数量	打込後	全数量		
	3-2	縁石工 (縁石・アスカープ)	出来ばえ	施工後	種別毎に1回	不要	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第3編 土木工事 共通編	共通的 工種	3-3	小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回	不要	
		3-4	防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	施工後	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合)	不要	
				パイプ取付高、根入れ長	施工後	施工延長40mに1箇所、それ以下の場合は1施工箇所につき2箇所	代表箇所 各1枚	※なお、補修工事は不要
		3-5	路側防護柵工(ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高 ※配筋状況	施工後	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合)	不要	
				ビーム取付高、根入れ長	施工後	施工延長40mに1箇所、それ以下の場合は1施工箇所につき2箇所	代表箇所 各1枚	※なお、補修工事は不要
		3-6	路側防護柵工(ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高 ※基礎延長	施工後	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合)	不要	
				ケーブル取付高、根入れ長	施工後	施工延長40mに1箇所、それ以下の場合は1施工箇所につき2箇所	代表箇所 各1枚	※なお、補修工事は不要
		3-7	区画線工	材料使用量	施工前後	全数量	不要	
				出来ばえ	施工前後	施工日に1回		
		3-8	道路附属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	施工後	1施工箇所に1回	不要	
		3-9	コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	使用前後	全数量	代表箇所 各1枚	
				素地調整状況 (塗替)	施工前後	スパン毎、部材別		
塗装状況	塗装後			各層毎に1回				
3-10	プレテンション桁製作工(購入工) (けた橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	製作後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚			
3-11	プレテンション桁製作工(購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	製作後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚			
3-12	ポストテンション桁製作工	シーす、PC 鋼材配置状況	打設前	桁毎に1回	代表箇所 各1枚			
		幅(上) 幅(下) 高さ	型枠取外後	桁毎に1回				
		中詰め及びグラウト状況	施工時	1スパンに1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編 土木工事 共通編	共通的 工種	3-13	プレキャストセグメント製作工(購入工)	断面の外形寸法	製作後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚
		3-14	プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	組立時	1スパンに1回	代表箇所 各1枚
		3-15	PCホロースラブ製作工 RC場所打ホロースラブ製作工 PC版桁製作工	シーース、PC 鋼材配置状況	打設前	桁毎に1回	代表箇所 各1枚
				幅 厚さ	型枠取外し後	桁毎に1回	
				中詰め及びグラウト状況	施工時	1スパンに1回	
		3-16	PC箱桁製作工PC片持箱桁製作工	シーース、PC 鋼材配置状況	打設前	桁毎に1回	代表箇所 各1枚
				幅(上) 幅(下) 高さ	型枠取外し後	桁毎に1回	
				内空幅 円空高さ	型枠設置後	桁毎に1回	
				中詰め及びグラウト状況	施工時	1スパンに1回	
				シーース、PC 鋼材配置状況	打設前	桁毎に1回	
		幅(上) 幅(下) 高さ	型枠取外し後	桁毎に1回			
		内空幅 円空高さ	型枠設置後	桁毎に1回			
		中詰め及びグラウト状況	施工時	1スパンに1回			
		3-17	PC押し箱桁製作工	シーース、PC 鋼材配置状況	打設前	桁毎に1回	代表箇所 各1枚
				幅(上) 幅(下) 高さ	型枠取外し後	桁毎に1回	
				内空幅 円空高さ	型枠設置後	桁毎に1回	
中詰め及びグラウト状況	施工時			1スパンに1回			
シーース、PC 鋼材配置状況	打設前			桁毎に1回	代表箇所 各1枚		
数量	製作後	全数量					
3-18	根固めブロック工	ブロックの形状寸法	製作後	形状寸法変わる毎に1回	代表箇所 各1枚		
		格子寸法 厚さ 割石状況 幅	施工後	40m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		
3-19	沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	施工後	40m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		
3-20	捨石工	幅	施工後	200m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		
3-21	階段工	幅 高さ 長さ	施工後	1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		
3-22	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	設置状況	設置後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚		
3-23	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	設置状況	設置後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚		
3-24	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	施工中	100m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		
		法長	施工後	100m又は1施工箇所1回			
3-25	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	提 出 頻 度	摘 要
第3編土木工事共通編	3-26	羽口工(川やかご)	法長 厚さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-27	羽口工(ふとんかご・かご枠)	高さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-28	プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	施工中	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
			※幅 ※高さ	埋戻し前	100m又は1施工箇所1回 (※印は場所打ちのある場合)		
	3-29	側溝工 (プレキャストU型側溝) (コルゲートフリューム) (L型側溝) (L型街渠工) (LO型街渠工) (自由勾配側溝) (管(函)渠型側溝工)(管渠) (排水構造物修繕工) (プレキャストU型側溝・管(函)渠)	据付状況	埋戻し前	100m又は1施工箇所1回	不要	
	3-30	現場打水路工	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-31	暗渠工	幅 深さ	埋戻し前	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-32	集水柵工	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	1施工箇所に1回	不要	
	3-33	現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	使用前後	全数量	代表箇所各1枚	
			ケレン状況 (塗替)	施工前後	スパン毎、部材別		
			塗装状況	塗装後	各層毎1スパンに1回		
	3-34	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	不要	
	3-35	基礎工護岸(現場打)	幅 高さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-36	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編 土木工事共通編	基礎工	3-37 既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	打込後	1施工箇所1回	代表箇所 各1枚	
			根入長	打込前	1施工箇所1回		
			数量	打込後	全数量		
			杭頭処理状況	処理前、中、後	1施工箇所1回		
		3-38 場所打杭工	根入長	施工中	1施工箇所1回	代表箇所 各1枚	※杭頭余盛部の撤去前、 杭頭処理後
			偏心量	打込後	1施工箇所1回		
			数量、杭径	※	全数量		
			杭頭処理状況	処理前、中、後	1施工箇所1回		
			鉄筋組立状況	組立後	1施工箇所1回		
		3-39 深礎工	根入長	掘削後	全数量	代表箇所 各1枚	
			偏心量、数量、基礎径	施工後	全数量		
			ライナープレート設置状況	掘削後	1施工箇所1回		
			土質	掘削中	土質の変わる毎に1回		
			鉄筋組立状況	組立後	全数量		
		3-40 オープンケーソン基礎工	杓	据付後	1基毎に1回	全枚数	
			ケーソンの長さ	設置後及び型枠取 外し後	1ロット毎に1回		
			ケーソンの幅				
			ケーソンの高さ				
			ケーソンの壁厚				
			偏心量				
鉄筋組立状況							
載荷状況	載荷時	1基に1回					
封鎖コンクリート打設状況	施工時	1基に1回					
中埋状況							
3-41 ニューマチックケーソン基礎工	杓	据付後	1基毎に1回	全枚数			
	ケーソンの長さ	設置後及び型枠取 外し後	1ロット毎に1回				
	ケーソンの幅						
	ケーソンの高さ						
	ケーソンの壁厚						
	偏心量						
	鉄筋組立状況						
載荷状況	載荷時	1基に1回					
封鎖コンクリート打設状況	施工時	1基に1回					
中埋状況							

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮影時期	撮 影 頻 度	提出頻度	摘 要	
第3編 土木工事共通編	基礎工	3-42 鋼管矢板基礎工	否	据付後	1基毎に1回	全枚数		
			根入長	設置後	1基毎に1回			
			偏心量					
			鉄筋組立状況					
			載荷状況	載荷時	1基に1回			
			封鎖コンクリート打設状況	施工時	1基に1回			
			中埋状況					
	石・ブロック積(張)工	3-43	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	厚さ(裏込)	施工中	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
				法長	施工後	100m又は1施工箇所1回		
		3-44	コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	法長	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
						ただし、根入部は40mに1回		
		3-45	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	幅	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
	3-46	緑化ブロック工□	厚さ(裏込)	施工中	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚		
			法長	施工後	100m又は1施工箇所1回			
			厚さ(ブロック)		ただし、根入部は40mに1回			
	3-47	石積(張)工	厚さ(裏込)	施工中	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚		
			法長	施工後	100m又は1施工箇所1回			
			厚さ(石積・張)		ただし、根入部は40mに1回			
一般舗装工	3-48	下層路盤工 (アスファルト舗装工) (半たわみ性舗装工) (排水性舗装工) (コンクリート舗装工) (コンクリート舗装工(転圧コンクリート版))	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所各1枚		
			転圧状況					
			整正状況	整正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	整正後	各層毎200mに1回			
					ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回			
			幅	整正後	各層毎80mに1回			
					ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回			
			下層路盤工 (薄層カラー舗装工) (ブロック舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所各1枚	
				転圧状況				
整正状況				整正後	各層毎400mに1回			
厚さ				整正後	各層毎200mに1回			
		幅	整正後	各層毎80mに1回				
				ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第3編土木工事共通編	一般舗装工	3-49 粒度調整路盤工 (アスファルト舗装工) (半たわみ性舗装工) (排水性舗装工) (コンクリート舗装工) (コンクリート舗装工(転圧コンクリート版))	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			修正状況	修正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	修正後	各層毎200mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回			
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回			
		粒度調整路盤工 (薄層カラー舗装工) (ブロック舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			修正状況	修正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	修正後	各層毎200mに1回			
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回			
3-50 路盤工 (透水性舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚				
	転圧状況							
	修正状況	修正後	各層毎400mに1回					
	厚さ	修正後	各層毎200mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回					
	幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回					

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第3編土木工事共通編	一般舗装工	3-51 セメント(石灰)安定処理工 (アスファルト舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			整正状況	整正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	整正後	1,000㎡に1回(※コアを採取した場合は写真不要) ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回			
		幅	整正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				
		セメント(石灰)安定処理工 (半たわみ性舗装工) (排水性舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			整正状況	整正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	整正後	各層毎200mに1回(※コアを採取した場合は写真不要) ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回			
		幅	整正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				
		セメント(石灰)安定処理工 (薄層カラー舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			整正状況	整正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	整正後	1,000㎡に1回(※コアを採取した場合は写真不要)			
		幅	整正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				
		セメント(石灰)安定処理工 (ブロック舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚		
			転圧状況					
			整正状況	整正後	各層毎400mに1回			
			厚さ	整正後	各層毎200mに1回(※コアを採取した場合は写真不要)			
		幅	整正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編土木工事共通編	一般舗装工	3-52 セメント(石灰・瀝青)安定処理工 (コンクリート舗装工) (コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工))	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚	
			転圧状況	修正後	各層毎400mに1回		
			厚さ	修正後	1,000㎡に1回(※コアを採取した場合は写真不要) ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回		
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回		
		3-53 加熱アスファルト安定処理工 (アスファルト舗装工) (半たわみ性舗装工) (排水性舗装工) (グースアスファルト舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚	
			転圧状況	修正後	各層毎400mに1回		
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回		
			敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回		
		3-54 基層工 (アスファルト舗装工) (排水性舗装工)	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所 各1枚	
			転圧状況	修正後	各層毎400mに1回		
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回		
		3-54 基層工 (アスファルト舗装工) (排水性舗装工)	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚	
タックコート、プライムコート	散布時		各層毎に1回				
幅	修正後		各層毎200mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編土木工事共通編	一般舗装工	3-54 基層工 (薄層カラー舗装工)	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚	
			タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回		
			厚さ	修正後	1,000㎡に1回		
			幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事に1回		
		3-54 基層工 (半たわみ性舗装工) (グースアスファルト舗装工) (ブロック舗装工)	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚	
			タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回		
		3-55 表層工 (アスファルト舗装工) (排水性舗装工) (透水性舗装工) (グースアスファルト舗装工)	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚	
			タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回		
			平坦性	実施中	1工事に1回		
	3-55 表層工 (半たわみ性舗装工)	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚		
		タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回			
		浸透性マルク注入状況	注入時	200mに1回			
		平坦性	実施中	1工事に1回			
	3-56 アスファルト中間層 (コンクリート舗装工) (コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工))	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所 各1枚		
		タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回			
		幅	修正後	各層毎80mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は各層毎1工事			
	3-57 コンクリート舗装版工 (コンクリート舗装工)	石粉、プライムコート	散布時	各層毎に1回	代表箇所 各1枚		
		スリッパー、タイバー寸法、位置	据付後	80mに1回			
鉄網寸法位置		据付後	80mに1回				
平坦性		実施中	1工事に1回				
厚さ		型枠据付後	各層毎200mに1回				
		修正後	ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により厚さあるいは標高較差を管理する場合は各層毎1工事に1回				
目地段差			1工事に1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要				
第3編 土木工事共通編	一般舗装工	3-57 コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)	石粉、プライムコート	散布時	各層毎に1回	代表箇所 各1枚					
			鉄筋寸法、位置	据付後	80mに1回						
			横膨張目地部ダウエルバー寸法、位置	据付後	1施工箇所に1回						
			縦そり突合せ目地部	据付後	80mに1回						
			縦そりダミー目地部タイバー寸法、位置	据付後	80mに1回						
			平坦性	実施中	1工事に1回						
			厚さ	型枠据付後 スリップフォーム工 法の場合は打設前 修正後	各層毎200mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回						
			目地段差		1工事に1回						
			3-58	転圧コンクリート版工 (コンクリート舗装工)	敷均し厚さ 転圧状況			施工中	400mに1回	代表箇所 各1枚	
					厚さ			型枠据付後 修正後	各層毎200mに1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回		
			平坦性	実施中	1工事に1回						
	3-59	路面切削工	幅 厚さ(基準高)	施工後	1施工箇所に1回 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による場合は1工事に1回	代表箇所 各1枚					
	3-60	舗装打換え工	幅 延長 厚さ	施工後	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚					
	3-61	オーバーレイ工	平坦性	施工後	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚					
			タックコート	散布時	各層毎に1回						
			修正状況	施工後	200mに1回						

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第3編 土木工事 共通編	地盤改良工	3-62	路床安定処理工	施工厚さ 幅	施工後	200mに1回	代表箇所 各1枚	
		3-63	置換工	置換厚さ 幅	施工後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
		3-64	パイルネット工	厚さ 幅	施工後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
		3-65	サンドマット工	施工厚さ 幅	施工後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
		3-66	バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 出来ばえ	打込み前後	200㎡又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
				杭径 位置・間隔	打込後	200㎡又は1施工箇所に1回		
				砂の投入量	打込前後	全数量		
		3-67	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	打込後	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
				深度	打込前後	1施工箇所に1回		
		3-67	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ	施工中	1,000m ³ ～4,000m ³ につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回	代表箇所 各1枚	
				幅	施工後	1,000m ³ ～4,000m ³ につき1回、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1回		
						ただし、「施工履歴データを用いた出来形管理要領(表層安定処理等・中層地盤改良工事編)(案)」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編 土木工事 共通編	仮設工	3-68 土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位	打込前	40m又は1施工箇所1回	代表箇所 各1枚	
			根入長 数量	打込後	全数量		
		3-69 土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	削孔後	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
			配置誤差	施工後	1施工箇所に1回		
		3-70 土留・仮締切工(連節ブロック張り工)	法長	施工後	200m又は1施工箇所に1回 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	
		3-71 土留・仮締切工(締切盛土)	天端幅 法長	施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
		3-72 土留・仮締切工(中詰盛土)	出来ばえ	施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
		3-73 地中連続壁工(壁式)	連壁の長さ 変位	施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
	3-74 地中連続壁工(柱列式)	連壁の長さ 変位	施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
	3-75 法面吹付工			3-93吹付工に準ずる	代表箇所 各1枚		
	工場 製作工	3-76 鋳造費 (金属支承工)	製作状況	製作中	適宜	代表箇所 各1枚	
		3-77 鋳造費 (大型ゴム支承工)	製作状況	製作中	適宜	代表箇所 各1枚	
		3-78 仮設材製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所 各1枚	
			製作状況	製作中	適宜		
3-79 刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	仮組立時	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	提 出 頻 度	摘 要		
第3編土木工事共通編	工場製作工	3-80	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚	※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略	
				製作状況	製作中	適宜			
				仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回			
			3-80	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回		代表箇所各1枚
		製作状況			製作中	適宜	代表箇所各1枚		
			3-81	桁製作工(鋼製堰堤製作工) (仮組立時)	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	仮組立時	1基に1回又は1工事に1回		代表箇所各1枚
			3-82	検査路製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回		代表箇所各1枚
			3-83	鋼製伸縮継手製作工	製作状況	製作中	適宜		代表箇所各1枚
		原寸状況			原寸時	1橋に1回又は1工事に1回			
		仮組立寸法			仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回			
			3-84	落橋防止装置製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回		代表箇所各1枚
			3-85	橋梁用防護柵製作工	製作状況	製作中	適宜		代表箇所各1枚
	原寸状況	原寸時			1橋に1回又は1工事に1回				
		3-86	アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚		
		3-87	プレビーム用桁製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚		
	製作状況			製作中	適宜				
	仮組立寸法			仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回				
		3-88	鋼製排水管製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚		
	製作状況			製作中	適宜				
材料使用量 (塗料缶)	使用前後			全数量	代表箇所各1枚				
素地調整状況 (塗替)	施工前後	部材別							
塗装状況	塗装後	各層毎に1回							
	3-89	工場塗装工	架設状況	架設中	架設工法が変わる毎に1回	代表箇所各1枚			
	3-90	架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラバラークレーン架設)	架設状況	架設中	架設工法が変わる毎に1回	代表箇所各1枚			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第3編 土木工事 共通編	法面工	3-91 植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工・植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	混合前	1工事に1回	代表箇所 各1枚	
			土羽土の厚さ	施工中	200m又は1施工箇所に1回		
			法長	施工後	200m又は1施工箇所に1回		
		3-92 植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	清掃後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
			ラス鉄網の重ね合せ寸法	吹付前	200m又は1施工箇所に1回		
			厚さ(検測孔)	吹付後	200㎡又は1施工箇所に1回		
	3-93 吹付工 (コンクリート) (モルタル)	法長	施工後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
		材料使用量	混合前	1工事に1回			
		厚さ(検測孔)	吹付後	200㎡又は1施工箇所に1回			
	3-94 法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 幅 高さ 吹付枠中心間隔	施工後	200m又は1施工箇所に1回 ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る	代表箇所 各1枚		
	3-95 法枠工(プレキャスト法枠工)	法長	施工後	200m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
	3-96 アンカー工	削孔深さ	削孔後	1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
		配置誤差	施工後	1施工箇所に1回			
	擁壁工	3-97 塙所打擁壁工(コンクリート擁壁工)	裏込厚さ	施工中	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚	
厚さ 幅 高さ			型枠取外し後	100m又は1施工箇所に1回			
3-98 プレキャスト擁壁工		据付状況	埋戻し前	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
3-99 井桁ブロック工		裏込厚さ	施工中	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚		
		法長 厚さ	施工後	100m又は1施工箇所に1回			
3-102 盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	高さ 鉛直度	施工後	120m又は1施工箇所に1回	代表箇所 各1枚			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第3編 土木工事 共通編	3-100	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船) (グラフ船) (バックホウ浚渫船)	運転状況	施工後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚		
	3-101	床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	打設前後	1スパンにつき1回	代表箇所 各1枚		
第4編 河川編	築堤・ 護岸	4-1	河川幅	幅	施工後	100m又は1施工箇所につき1回	代表箇所各1枚	
		4-2	護岸付属物工	幅 高さ	施工後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚	
		4-3	杭出し水制工	径 杭長	打込み前	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚	
				幅 方向	施工後	1施工箇所につき1回		
		4-4	配管工	配管状況	施工後	100m又は1施工箇所につき1回	代表箇所各1枚	
	4-5	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	施工後	100m又は1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚		
	樋門・ 樋管	4-6	函渠工(本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	型枠取外し後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚	
		4-7	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	巻立前	100m又は1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚	
		4-8	翼壁工 函叩工	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚	
水門	4-9	床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	1施工箇所につき1回	代表箇所 各1枚		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮影時期	撮 影 頻 度	提出頻度	摘 要
第4編 河川編	水門	4-10	支承工 (鋼製支承)	支承取付 状況	取付後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚
		4-11	支承工 (ゴム支承)	支承取付 状況	取付後	1スパンに1回	代表箇所 各1枚
		4-12	地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
		4-13	橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
		4-14	検査路工	幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
	堰	4-15	閘門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
		4-16	堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
		4-17	魚道本体工	厚さ 幅 高さ	施工後	200m又は測定箇所 毎に1回	代表箇所 各1枚
		4-18	管理橋橋台工	厚さ、天端幅(橋軸方向)、敷幅(橋軸方向) 高さ、胸壁の高さ、天端長、敷長	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
	排水 機場	4-19	排水機場本体工 出水槽工 本体工	厚さ 幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
		4-20	排水機場燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	適宜
		4-21	排水機場 コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	施工後	1施工箇所 に1回	代表箇所 各1枚
	床止め・ 床固め	4-22	本体工(床固め本体工)	天端幅 堤幅 水通し幅	施工後	測定箇所 毎に1回	代表箇所 各1枚
		4-23	水叩工	幅 厚さ	施工後	測定箇所 毎に1回	代表箇所 各1枚
4-24		側壁工	天端幅 長さ	施工後	測定箇所 毎に1回	代表箇所 各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第5編 砂防編	砂防堰堤	5-1 鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所 各1枚	
			製作状況	製作中	適宜		
		5-2 コンクリート堰堤本体工 コンクリート副堰堤工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	施工中	月に1回	代表箇所 各1枚	
			打継目処理 打込・養生	施工中	4リフトに1回		
			天端幅 堤幅 水通しの幅	施工後	測定箇所毎に1回		
		5-3 コンクリート側壁工	天端幅 長さ	施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所 各1枚	
		5-4 水叩工	幅 厚さ	施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所 各1枚	
	5-5 鋼製堰堤本体工(不透過型)	長さ 幅 下流側倒れ	施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所 各1枚		
	5-6 鋼製堰堤本体工(透過型)	堤長 堤幅 高さ	施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所 各1枚		
	5-7 鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所 各1枚		
	流路	5-8 魚道工	幅 高さ 厚さ	施工後	100m又は測定箇所 毎に1回施工後	代表箇所 各1枚	
	斜面对策	5-9 山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所に1回	不要	
5-10 集排水ボーリング工		削孔深さ 配置誤差	施工後	1施工箇所に1回	不要		
5-11 集水井工		偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	施工後	1施工箇所に1回	不要		
5-12 合成杭工		偏心量	施工後	1施行箇所に1回	代表箇所 各1枚		
	数量	打込後	全数量				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第6編 ダム編	コンクリートダム	6-1	コンクリートダム工(本体)	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
		6-2	コンクリートダム工(水叩)	ジョイント間隔 幅 長さ 打継目処理	施工後	測定箇所毎に1回 奇数ブロック毎に岩着部中間リフトに1回	適宜	
		6-3	コンクリートダム(副ダム)	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
		6-4	コンクリートダム(導流壁)	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
	フィルダム	6-5	コアの盛立	外側境界線	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
		6-6	フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
		6-7	ロックの盛立	外側境界線	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
		6-8	フィルダム(洪水吐)	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	施工後	測定箇所毎に1回	適宜	
	基礎 グラウチン	6-9	ボーリング	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差 コア	施工中	ブロック毎に1回	適宜	
コア				抜取後	地質変化毎全数量			
第7編 道路編	道路改良	7-1	遮音壁支柱製作工	部材長	製作後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		7-2	場所打函渠工	厚さ 幅(内空) 高さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		7-3	落石防止網工	幅	施工後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		7-4	落石防護柵工	高さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		7-5	防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第7編道路編	道路改良	7-6	雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	施工後	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
		7-7	遮音壁基礎工	幅 高さ	施工前後	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前は必要に応じて)	適宜	
		7-8	遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	施工後	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
	舗装	7-9	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所各1枚	
				転圧状況	修正後	各層毎400mに1回		
				厚さ	修正後	各層毎200mに1回		
				幅	修正後	各層毎80mに1回		
		7-10	歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	修正状況	修正後	200mに1回	代表箇所各1枚	
				タックコート、プライムコート	散布時	各層毎に1回		
				平坦性	実施中	1工事1回		
		7-11	排水性舗装用路肩排水工	据付状況	施工中	100m又は1施工箇所に1回	不要	
		7-12	踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	施工後	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
	<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ							
	<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長							
	7-13	大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	施工後	基礎タイプ毎5箇所に1回	適宜		
	7-14	大型標識工(標識柱工)	設置高さ	施工後	1施工箇所に1回	適宜		
7-15	ケーブル配管工	配管状況	施工後	100m又は1施工箇所に1回	不要			
7-16	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	施工後	100m又は1施工箇所に1回	不要			
7-17	照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	施工前後	基礎タイプ毎5箇所に1回(施工前は必要に応じて)	適宜			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工 種	撮 影 項 目	撮影時期	撮 影 頻 度	提出頻度	摘 要
第7編道路編	橋梁下部	7-18 鋼製橋脚製作工	原寸状況	原寸時	1脚に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚	
			製作状況	製作中	適宜		
			仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	仮組立時	1脚に1回又は1工事に1回		
		7-19 橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	型枠取外し後	全数量	代表箇所各1枚	
		7-20 橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	型枠取外し後	全数量	代表箇所各1枚	
		7-21 橋脚躯体工(アーチ式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	型枠取外し後	全数量	代表箇所各1枚	
		7-22 橋脚フーチング工 (I型) (T型)	幅 高さ 長さ	型枠取外後	全数量	代表箇所各1枚	
		7-23 橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	型枠取外後	全数量	代表箇所各1枚	
		7-24 橋脚架設工 (I型)(T型)	架設状況	架設中	架設工法が変わる毎に1回	代表箇所各1枚	
	7-25 橋脚架設工 (門型)	架設状況	架設中	架設工法が変わる毎に1回	代表箇所各1枚		
	7-26 現場継手工	継手部のすき間	施工後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚		
鋼橋上部	7-27 橋梁用高欄製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚		
		製作状況	製作中	適宜			
	7-28 落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	削孔後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第7編 道路編	コンクリート橋上部	7-29	プレビーム桁製作工(現場)	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚	
				製作状況	製作中	適宜		
				仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回		
				幅 高さ	型枠取外し後	桁毎に1回		
	トンネル	7-30	NATM吹付工	岩質	掘削中	岩質の変わる毎に1回	代表箇所各1枚	
				湧水状況	掘削中	適宜		
				吹付面の清掃状況	清掃後	40m毎に1回		
				金網の重ね状況	2次吹付前	40m毎に1回		
		7-31	NATMロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	穿孔中	施工パターン毎又は80mに1断面	代表箇所各1枚	
				ロックボルト注入状況	注入中	施工パターン毎又は80mに1断面		
				ロックボルト打設後の状況	打設後	施工パターン毎又は80mに1断面		
				7-32	覆工コンクリート工 側壁コンクリート工	覆工(巻立空間)		
		覆工(厚さ)	型枠取外し後	1セメントに1回				
		幅 高さ	施工後	100m又は1施工箇所に1回				
		7-33	床版コンクリート工	幅 厚さ	施工後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
		7-34	インバート本体工	インバート(厚さ)	埋戻し前	40m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
				幅(全幅)	施工後	100m又は1施工箇所に1回		
		7-35	NATM坑門本体工	幅 高さ	埋戻し前	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚	
	7-36	明り巻工	覆工(巻立空間)	型枠組立後	40m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚		
			覆工(厚さ)	型枠取外し後	40m又は1施工箇所に1回			
幅(全幅) 高さ(内法)			施工後	100m又は1施工箇所に1回				
7-37	現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	型枠取外し後	100m又は1施工箇所に1回	代表箇所各1枚			
7-38	カラー継手工	厚さ 幅 長さ	設置後	1施工箇所に1回	代表箇所各1枚			
共同溝								

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第7編 道路編	共同溝	7-39	防水工(防水)	幅	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-40	防水工(防水保護工)	厚さ	施工後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-41	防水工(防水壁)	高さ 幅 厚さ	施工後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-42	プレキャスト躯体工	据付状況	埋戻し前	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
	電線共同溝	7-43	管路工(管路部)	敷設状況	敷設後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-44	プレキャストボックス工(特殊部)	据付状況	据付後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-45	現場打ちボックス工(特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚
		7-46	ハンドホール	厚さ 幅 高さ	型枠取外し後	1施工箇所1回	不要
	道路維持	7-47	切削オーバーレイ工	平坦性	施工後	1施工箇所1箇所	代表箇所各1枚
				タックコート	散布時	各層毎に1回	
				整正状況	施工後	200mに1回	
	7-48	路上再生工	敷均厚 転圧状況	施工中	各層毎400mに1回	代表箇所各1枚	
			整正状況 厚さ	整正後	各層毎400mに1回		
	7-49	グレーピング工	出来ばえ	施工前後	施工日に1回	不要	
	道路修繕	7-50	桁補強材製作工	原寸状況	原寸時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚
製作状況				製作中	適宜		
仮組立寸法(撮影項目は適宜)				仮組立時	1橋に1回又は1工事に1回		
7-51		落橋防止装置工	長さ、径、材質	材料搬入時	1橋に1回又は1工事に1回	代表箇所各1枚	
			出来ばえ	施工中	適宜		
7-52	伸縮継手修繕工	厚さ 幅 延長	修繕後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚		
7-53	伸縮継手修繕工 (ゴムジョイント)	厚さ 幅 延長	修繕後	1施工箇所1回	代表箇所各1枚		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
その他	その他	他-1	橋面防水工	塗布又は設置状況	施工中	1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		他-2	仮排水路	厚さ、高さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	適宜	
		他-3	仮締切(土石)	巻出し厚	巻出し時	100m又は1施工箇所1回	適宜	
				転圧状況	締固時	転圧機械が変わる毎に1回		
		他-4	仮締切(コンクリート)	厚さ、高さ	型枠取外し後	100m又は1施工箇所1回	適宜	
		他-5	基礎掘削	組合せ機械	施工中	組合せ機械変わる毎に1回	適宜	
				土質、岩質	掘削中	土質、岩質変わる毎に1回		
				岩盤清掃状況	清掃前後	1施工箇所1回		
		他-6	提体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	施工中	月に1回	適宜	
				打継目処理、打込養生	施工中	8リフトに1回		
		他-7	提体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及び溶接	据付後	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回	適宜	
		他-8	提体排水工	排水孔の位置、箱断面、排水管取付箇所	据付後	各ブロック毎、先行ブロックについて4リフトに1回	適宜	
		他-9	提体冷却工	配管間隔、通水状況	据付後	5リフトに1回	適宜	
		他-10	提体埋設計器	器種、位置、間隔	据付後	1施工箇所1回	適宜	
		他-11	シールド	掘削の地山状態	掘削中	地質の変化の毎に1回	代表箇所各1枚	
				セグメント組立状況	組立後	1工事に1回		
				二次覆工(セグメント清掃状況)	清掃前後	1工事に1回		
				二次覆工の厚さ	型枠取外し後	1スパンに1回		
		他-12	アスファルト舗装	打換パッチング	施工前後	施工日に1回	不要	
		他-13	コンクリート舗装	目地掃除	施工前後	3,000㎡に1回	不要	
				目地充填	施工後	3,000㎡に1回		
				注入工、削孔状況(位置、間隔)	削孔後	2,000㎡に1回		
				注入工、注入圧	注入時	2,000㎡に1回		
				目地亀裂防止材、張付け状況	張付け後	3,000㎡に1回		
				局部打換、各層厚さ	施工前後	各層毎100㎡に1回又は1施工箇所1回		
		他-14	路肩、路側路盤工	厚さ	施工後	100㎡に1回又は1施工箇所1回	代表箇所各1枚	
		他-15	道路除草	出来ばえ	施工前後	2kmに1回(1回刈毎)	適宜	
他-16	路肩整正	出来ばえ		1kmに1回	適宜			
他-17	新設、更新、修理防護柵類	出来ばえ	施工前後	1施工箇所1回(施工前は必要に応じて)	適宜			
他-18	新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	施工前後	基礎タイプ毎5箇所1回(施工前は必要に応じて)	適宜			
他-19	新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、出来ばえ	施工前後	基礎タイプ毎5箇所1回(施工前は必要に応じて)	適宜			
他-20	視線誘導標	出来ばえ	施工後	施工日に1回	適宜			
他-21	清掃(路面、標識、側溝、集水柵)	出来ばえ	施工前後	施工日に1回	適宜			
他-22	区画線路面表示	出来ばえ	施工前後	施工日に1回	適宜			
		材料使用量	施工前後	全数量	適宜			
他-23	街路樹植樹	出来ばえ	施工前後	適宜	適宜			
他-24	街路樹補植	出来ばえ	施工前後	適宜	適宜			
他-25	街路樹剪定	出来ばえ	施工前後	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回	適宜			
他-26	街路樹消毒、施肥	出来ばえ	施工中	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回	適宜			
他-27	街路樹雪囲	出来ばえ	施工後	適宜	適宜			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
その他	その他	他-28	排雪除雪	施工状況、機種	施工中	施工中に1回	適宜	
		他-29	凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中	施工中に1回	適宜	
				材料使用量	施工前後	全数量		
		他-30	河川除草	出来ばえ	施工前後	1kmに1回(1回刈毎)	適宜	
			応急処理	処理の状況	その都度		適宜	
		他-31	配筋	位置、間隔、継手寸法	組立後	打設ロット毎に1回又は1施工箇所1回	適宜	維持補修工について摘要
	他-32	コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	施工時	工種種別毎1回	1施工ブロック		
	他-33	養生	養生状況	養生時	工種種別毎1回、養生方法に1回	各1枚		
第8編 下水道編	下水道	8-1	管路土工(管路掘削)	掘削状況 深さ、幅	施工中 掘削後	マンホール間ごとに1回		
		8-2	管路土工(管路埋戻)	埋戻状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
		8-3	管布設工(管布設(自然流下管))	布設状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
				中心線の変位(水平)	布設後			
		8-4	管布設工(短形渠(プレキャスト))	布設状況	施工中	施工延長20mにつき1回		
				中心線の変位(水平)	布設後			
		8-5	管布設工(圧送管)	布設状況	施工中	施工延長40mにつき1回		
				中心線の変位(水平)	布設後			
		8-6	管基礎工(砂基礎)	施工状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
				幅、厚さ	施工後			
		8-7	管基礎工(砕石基礎)	施工状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
				幅、厚さ	施工後			
		8-8	管基礎工(コンクリート基礎)	施工状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
				幅、厚さ	施工後			
		8-9	管基礎工(まくら土台基礎)	設置状況	施工中	マンホール間ごとに1回		
8-10	管基礎工(はしご胴木基礎)	設置状況	施工中	マンホール間ごとに1回				
		幅、厚さ	設置後					
8-11	水路築造工(現場打水路)	布設状況	施工中	施工延長20mにつき1回				
		中心線の変位(水平)、幅、高さ、厚さ	設置後					
8-12	管路土留工(鋼矢板土留)	打込状況	打込中	施工延長20mにつき1回				
		根入長	打込前後					
		変位	打込後					
		数量	打込後					
8-13	推進工(推進工)	各種設備設置撤去状況(推進設備、掘進機、坑口、汚水処理設備等)	施工中	1施工箇所1回				
		推進状況(掘削、送排泥、裏込注入等)	施工中					
		中心線の変位(水平)	推進後					

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第8編 下水道編	下水道	8-14	立坑内管布設工(空伏工)	施工状況 幅、高さ、中心のずれ	施工中 施工後	1施工箇所につき1回	
		8-15	一次履工(掘進工)	各種設備設置撤去状況(シールド機、支柱壁、坑口、軌条設備等)	施工中	1施工箇所につき1回	
		セグメント組立状況		施工中	施工延長40mにつき1回		
		掘進状況(掘削、送排泥、裏込注入等)		掘進中	1施工箇所につき1回		
		中心線の変位(水平)		掘進後	施工延長40mにつき1回		
		8-16		二次履工(二次履工)	各種設備設置撤去状況	施工中	施工延長40mにつき1回
		履工状況	施工中				
		中心線の変位(水平)、二次履工厚、仕上がり内径	履工後				
		8-17	標準マンホール工(標準マンホール工)	据付状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		幅(内法)、壁厚		施工後			
		8-18	標準マンホール工(マンホール基礎工)	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		床掘深、基礎工幅、基礎工高、コンクリート幅、コンクリート高		施工後			
		8-19	組立マンホール工(組立マンホール工)	据付状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		8-20	小型マンホール工(小型マンホール工)	据付状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		8-21	躯体工(現場打ち特殊人孔)	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		幅、高さ、壁厚		施工後			
		8-22	伏せ越し室・雨水吐室工 (伏せ越し室・雨水吐室)	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		幅、高さ、厚さ		施工後			
		8-23	伏せ越し管工(伏せ越し管)	布設状況	施工中	1施工箇所につき1回	
		中心線の変位(水平)		施工後			
8-24	越流堰(雨水吐室) (越流堰(雨水吐室))	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回			
幅(厚さ)、高さ(深さ)、延長(長さ)		施工後					
8-25	(中継ポンプ施設)	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回			
幅、長さ、深さ、壁厚		施工後					
8-26	ます設置工(公共ます)	設置状況	設置中	1施工箇所につき1回			
ます深		設置後					
8-27	取付管布設工(取付管)	布設状況	施工中	1施工箇所につき1回			
8-28	(立坑工)	施工状況(立坑設置状況、立坑基礎設置状況)	施工中	1施工箇所につき1回			
寸法、深さ		施工後					
8-29	(立坑土工)	施工状況	施工中	1施工箇所につき1回			
碎石基礎幅、碎石基礎厚、底版コンクリート幅、底版コンクリート厚		施工後					

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第10編 編治山編	山腹・ 森林整備	10-1	植穴	深さ、幅	掘削後	適宜	
			施肥	使用材料、施肥量(空袋)	施工前、施工後	適宜	
			地拵え	施工状況	施工前、施工後	適宜	同一箇所
			苗木(大苗、中苗)	樹高、幹周り	現場搬入時	樹種、規格毎に50本に1回	
			苗木(小苗)	樹高	現場搬入時	樹種毎に適宜	
			下刈、つる切り、除伐	施工状況	施工前、施工後	適宜	同一箇所
10-2	ロープネット工	アンカー削孔長・削孔方向	削孔後	施工本数の5%もしくは最小本数3本			
第12編 土地改良編	土地改良	12-1	水路トンネル	巻厚、型枠、切羽、支保工矢板、杭口、その他必要箇所	施工中、施工後	巻厚は1スパンにつき1箇所、その他は掘削タイプの変化ごとに1箇所	
		12-2	防護柵	3-5~3-6を準用する	同左	同左	
		12-3	管水路 (コンクリート二次製品)	パイプ布設状況、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所	施工中、施工後	施工延長おおむね50~100mごとに1箇所、それ以下は2箇所	
		12-4	管水路 (強化プラスチック、複合管、铸铁管)	上記と同一	上記と同一	上記と同一	
		12-5	管水路(硬質塩化ビニール管)	上記と同一	上記と同一	上記と同一	
		12-6	管水路基礎	砂基礎の高さ、基礎、埋戻等の厚さ、幅、まき出し、締固め状況	施工中、施工後	上記と同一	
		12-7	U字溝 U字フリューム ベンチフリューム	製品布設、その他必要箇所	施工中、施工後	上記と同一	
		12-8	コンクリート二次製品水路 コンクリートブロック積 鉄筋コンクリート 組立柵渠	組立水路はアーム間隔、柵立設置その他必要箇所、ブロック積水路は基礎関係、裏込、幅、高さ、その他必要箇所	施工中、施工後	上記と同一	
		12-9	土水路	幅、高さ、法勾配、その他必要箇所	施工中 施工後	施工延長はおおむね200~400mごとに1箇所、施工延長を示さない場合は、1~2工区につき1箇所	
		12-10	道路工(耕作道)	法勾配、幅、厚さ、側溝幅等	施工後	道路200m以上は200mごとに1箇所、200m以下は2箇所	
		12-11	砂利道	巻出し厚、転圧厚さ、幅、その他必要な箇所	施工中	幹線80mごとに1箇所、支線200m以上は200mごとに1箇所それ以上は2箇所	
		12-12	表土扱い	表土厚	施工中、施工後	10aごとに1箇所の割合	
		12-13	基礎整備・田面整地	基礎面、表土埋戻し後	施工中、施工後	10aごとに1箇所の割合	
		12-14	畦畔工	高さ、幅、その他必要な箇所	施工後	200m以上は200mごとに1箇所200m以下は2箇所	
		12-15	吸水渠	埋設深、間隔その他必要な箇所	施工中	1耕区当り1箇所	
	集水渠	埋設深、間隔その他必要な箇所	施工中	80mごとに1箇所			

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要	
第12編 土地改良編	土地改良	12-16	耕土掘り起こし	耕土深さ、つぼ堀	施工後	ha当り2箇所、つぼ堀は2ha当り1箇所		
		12-17	改良山成	基準高、法勾配、その他必要な箇所	施工後	測定2箇所ごとに1箇所		
		12-18	テラス(階段畑)	法勾配、幅、耕起幅等、その他必要な箇所	施工後	テラス200m以上は200mごとに1箇所、200m以下は2箇所		
		12-19	土壌改良	サンプル採取、試験中	試験中	2haごとに1箇所		
		12-20	掘削	掘削幅員、掘削深さ、法長法勾配、排水側溝、その他必要な箇所	施工中、施工後	施工延長おおむね50~100mにつき1箇所、それ以下は2箇所		
		12-21	盛土	盛土幅員、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝、その他必要な箇所	施工中、施工後	上記と同一		
		12-22	頭首工工事(本体)	幅、厚さ、高さ、長さ、配筋、その他必要な箇所	施工中、施工後	測定箇所毎に1回	代表箇所各1枚	
		12-23	頭首工工事(護床ブロック(異形ブロック))	基礎地盤状況、据付け状況、その他必要な箇所	施工中、施工後	施工面積おおむね200m ² につき1箇所	代表箇所各1枚	
		12-24	ため池改修工事(堤体工)	盛土幅員、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝その他必要な箇所	施工中、施工後	施工延長おおむね20~40mにつき1箇所	代表箇所各1枚	
		12-25	ため池改修工事(洪水吐工)	床堀、基礎、幅、高さ、配筋、打継目、パイプ布設、外観検査、ジョイント関係、その他必要な箇所	施工中、施工後	おおむね2スパンにつき1箇所	代表箇所各1枚	
		12-26	ため池改修工事(樋管工) 同上付帯構造物(土砂吐ゲート等)	床堀、基礎、幅、高さ、配筋、打継目、その他必要な箇所	施工中、施工後	施工延長おおむね10mにつき1箇所 箇所単位の構造物については適宜撮影	代表箇所各1枚	
		12-27	共通工事 掘削 (UAV出来形管理技術及びTLS出来形管理技術の場合)	掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配 排水側溝、その他必要な箇所		計測ごとに1回 施工延長おおむね50m~100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所		
			共通工事 盛土 (UAV出来形管理技術及びTLS出来形管理技術の場合)	盛土幅、法長、法勾配 まき出し厚さ、転圧、法面(芝)、排水側溝、その他必要な箇所		計測ごとに1回 施工延長おおむね50m~100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所		
	ほ場整備工事 基盤造成、表土整地 (UAV出来形管理技術及びTLS出来形管理技術の場合)	基盤面、表土埋戻後		計測ごとに1回				

出来形管理写真撮影箇所一覧表

区分	番号	工種	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	提出頻度	摘要
第12編 土地改良	12-27	共通工事 掘削 (出来形管理用TS技術の場合)	掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配		1工事に1回※		※各工種の施工後、出来形管理用TSを用いて出来形測定している状況を撮影する。
			排水側溝、その他必要箇所		施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所		
		共通工事 盛土 (出来形管理用TS技術の場合)	盛土幅、法長、法勾配		1工事に1回※		
			まき出し厚さ、転圧、法面(芝)、排水側溝、その他必要箇所		施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所		
		共通工事 栗石基礎、砕石基礎、砂基礎、均しコンクリート (出来形管理用TS技術の場合)	幅、厚さ		1工事に1回※		
転圧、粒径、その他必要箇所			施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所				
ほ場整備工事 基盤造成、表土整地 (出来形管理用TS技術の場合)	基盤面、表土埋戻後		1工事に1回※				
管水路工事 管体基礎工(砂基礎等) (出来形管理用TS技術の場合)	基礎の厚さ、幅 まき出し、締固め状況等		1工事に1回※ 施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合。上記未满是2箇所				

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの コンクリート舗装の場合適用
		スランブ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕		
		骨材粒度試験	工期中1回(現場練りのみ) 〔試験実施中〕		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	品質に異常が見られた場合 〔試験実施中〕		
		コンクリートの洗い分析試験	品質に異常が見られた場合 〔試験実施中〕		
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)(施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕		
		テストハンマーによる強度推定調査	コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められたとき 〔試験実施中〕	
2	ガス圧接	外観試験	検査毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		浸透探傷試験			
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		セメントミルクの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		プルフローリング	路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			

番号	工種	写真管理項目			摘要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度		
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回	不要		
		粒度				
		平板載荷試験	[試験実施中]			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合			
		含水比試験	[試験実施中]			
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要		
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回	不要		
		現場密度の測定				[試験実施中]
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]			
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]			
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回	不要		
		アスファルト量抽出粒度分析試験				
		温度測定				
		水侵ホイールトラック試験				
		ホイールトラック試験				
		ラベリング試験				
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定		[試験実施中]	不要	
		温度測定				
		外観試験				
		すべり抵抗試験				
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回	不要		
		マーシャル突き固め試験				
		ランマー突き固め試験				
		コンクリートの曲げ強度試験				[試験実施中]
		温度測定(コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回			[試験実施中]
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回			[試験実施中]
		コアによる密度測定				

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
10	ゲースアスファルト舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
	リュエル流動性試験240℃				
ホイールトラッキング試験					
曲げ試験					
粒度					
アスファルト量抽出粒度分析試験					
温度測定					
	ゲースアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		プルフローリング			
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕		
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		現場密度試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する		
		プルフローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕		
		現場CBR試験			
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕		

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	モルタルを除く
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合〔試験実施中〕		
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		空気量測定			
		ロックボルトの引き抜き試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕		
18	河川土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	★品質管理基準に 合わせる
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合		
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
20	道路土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回	〔試験実施中〕	不要
		プルフローリング	工種毎に1回	〔試験実施中〕	
		平板載荷試験	土質毎に1回		
		現場CBR試験		〔試験実施中〕	
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合	〔試験実施中〕	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合	〔試験実施中〕	
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施	〔試験実施中〕	
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回	〔試験実施中〕	不要
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			
22	コンクリートダム(材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回	〔試験実施中〕	不要
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回	〔試験実施中〕	
		モルタルの圧縮強度による砂の試験		〔試験実施中〕	
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回	〔試験実施中〕	
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重1.95の液体に浮く粒子の試験			
		練り混ぜ水の水質試験			

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
22	コンクリートダム(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合		
		空気量測定	〔試験実施中〕		
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回		
		温度測定			
		コンクリートの単位容積質量試験			
		コンクリートの洗い分析試験			
		コンクリートのプリージング試験			
		コンクリートの引張強度試験			
		コンクリートの曲げ強度試験	〔試験実施中〕		
23	覆工コンクリート(NATM)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	不要	
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕		
		塩化物総量規制	〔試験実施中〕		
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合		
		コンクリートの洗い分析試験	〔試験実施中〕		
24	吹付けコンクリート(NATM)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験	品質に変化が認められた場合		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		吹付けコンクリートの初期強度	トンネル施工長40mごとに1回		
25	ロックボルト(NATM)	モルタルの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		モルタルのフロー値試験	〔試験実施中〕		
		ロックボルトの引抜き試験	適宜 〔試験実施中〕		

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
26	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定			
		土の一軸圧縮試験			
		CAEの一軸圧縮試験			
		含水比試験			
27	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工(施工)	現場密度の密度	材料毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
28	排水性舗装工・ 透水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水侵ホイールトラッキング試験			
		ホイールトラッキング試験			
		ラベリング試験			
		カンタプロ試験			
28	排水性舗装工・ 透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観検査			

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
29	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		再生アスファルト量			
		水侵ホイールトラッキング試験			
		ホイールトラッキング試験			
		ラベリング試験			
	プラント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕		
温度測定					
現場密度の測定					
30	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	不要	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
		引張試験			
型曲げ試験					
衝撃試験					
マクロ試験					
非破壊試験					
突合せ継手の内部欠陥に対する検査					
外観検査					
曲げ試験					
31	溶接工	ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて 〔試験実施中〕	不要	
32	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 〔試験実施中〕	不要	
		在庫品切出	当初の物件で1回〔切出時〕 ※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 〔試験実施中〕		
33	ロープネット工	引張確認試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
34	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
		土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	不要	

別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

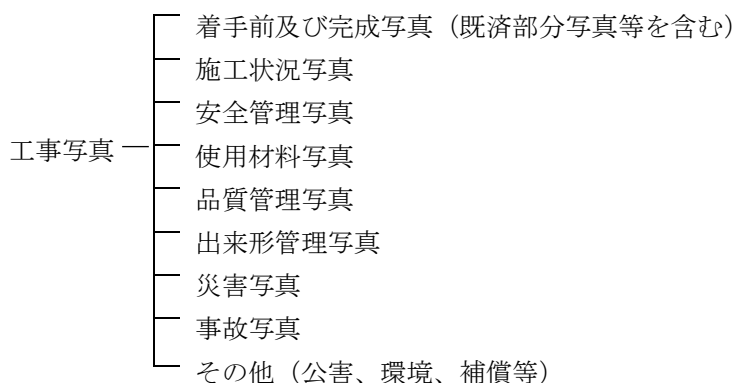
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、建設工事施工管理基準7に定める建設工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS等光

波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領（案）」（国土交通省）による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は次の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関等で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略することができる。

2-5 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。
ただし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

2-6 撮影の留意事項等

写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ、取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

(1) 撮影写真の原本

撮影写真の原本とは、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

(2) 工事写真帳

工事写真帳は、写真撮影基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影された写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版またはA4版とする。

4. その他

写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。